

過去・現在・そして未来へ

～地震火山研究観測センターにおける地震・火山噴火予知研究の取り組み～

地震火山研究観測センターは、関係機関と共に地震及び火山噴火予知を目指した学術研究に取り組んでいます。地震・火山噴火予知研究は5年を一区切りとした研究計画で実施されており、2013年度で現計画の最終年度を迎えました。

本シンポジウムでは、現在までに得られた研究成果や今後の研究推進に向けた課題、今後の予知研究の方向性について報告します。

■ 日時：2014年3月22日（土）13:30-16:30（開場 13:00）

■ 場所：北海道大学クラーク会館大講堂

（札幌市北区北8条西7丁目、JR札幌駅から徒歩約10分）

プログラム

13:00 開場

13:30-13:35 開会挨拶

谷岡 勇市郎（地震火山研究観測センター長）

13:35-14:05 講演1 村井 芳夫

「海域で起こる巨大地震予知研究の現状と課題」

14:10-14:40 講演2 高橋 浩晃

「内陸地震予知研究の現状と課題～屈斜路カルデラを例として」

14:40-14:50 休憩

14:50-15:20 講演3 茂木 透

「地震・火山噴火予知研究における地下構造調査の役割」

15:25-15:55 講演4 大島 弘光

「火山噴火予知研究の現状と課題」

16:00-16:10 講演5 定池 祐季

「防災・減災活動への貢献を目指して」

16:15-16:30 閉会挨拶

谷岡 勇市郎（地震火山研究観測センター長）

参加無料

申し込み不要

定員：約200名

問い合わせ

北海道大学地震火山研究観測センター地域防災情報支援室

Tel: 011-706-3591 Fax 011-716-2165

（受付時間：月・水・金 10:00-16:30）

H P : <http://www.sci.hokudai.ac.jp/isv/>

mail : isv-web@mail.sci.hokudai.ac.jp

主催：北海道大学大学院理学研究院

附属地震火山研究観測センター